

期待の新鋭監督・清水友翔が地元岐阜を舞台に描く 不器用で痛くても、心に寄り添う青春物語

本作は、20歳でJapan Film Festival Los Angeles 2022にてBest J. Horror賞を受賞した期待の新人監督、清水友翔が自身の出身地である自然豊かな岐阜県を舞台に、自身の経験をもとに自ら脚本を執筆。自身初の長編映画監督も務める。プロデューサーには代表作である『太秦ライムライト』(14)を監督した落合賢が担当。ハリウッドで活躍する二人が唯一無二の映画を送り出す。

主演には、亡くなった母を忘れられず、岐阜の田舎町で暮らす思春期の少年、大倉稔に初主演の新人安部伊織。東京から帰省し稔と出会った朱里役にCXのドラマ「バリバ孔明」で仮面アイドルを演じた葵うたの。引きこもりの稔の妹・鈴に映画『ブルーを笑えるその日まで』(23)で主演を演じた角心菜が演じる。脇には渡辺哲、稔の父役に加藤雅也を起用。父と子の距離感を繊細に演じる。

迷い、苦しみながらも周りの温かい人々に支えられながら、いつかは大切なものがなくなってきてしまう、喪失と恐怖を受け入れ、大切な今を生きていこうとするすべての人たちに捧げるひと夏の物語が公開される。



Story

田園風景の豊かな岐阜県にある田舎町。小学校の頃に母親を亡くしている大倉稔は、家にほとんど帰ってこない父親と不登校で引きこもっている妹に頭を悩ませていた。10年前に亡くなった母を未だ忘れられない稔は、死者と交流ができる、と話題の霊媒師を訪ねる。そこで「ドラッグ」が臨死体験に似た働きをすることを知った稔は、死後の世界への好奇心から非行の道を走り始める。そんな折、東京から帰省してきたという年上の女性、朱里と出会う。どこか母親のような優しさを併せ持つ朱里は、稔の心の寂しさを埋めてくれる存在になっていく。しかし、稔の前で起こった不幸な事件が稔の心がこれ以上ないほどに引き裂かれてしまう。死への好奇心が恐怖に変わってしまったことで、彼の胸の内に潜んでいた狂気が姿を現し始めるのだった…。

2026

1/24 土

高山市民文化会館
小ホール

1/25 日

飛騨市文化交流センター
小ホール

1) 開場 14:00 開演 14:30
2) 開場 17:30 開演 18:00

1) 開場 10:00 開演 10:30
2) 開場 13:30 開演 14:00

ゲスト

監督・脚本
清水 友翔



主演 大倉稔役
安部 伊織



上映後にゲストトークや
お楽しみ抽選会も開催!!

※出演者は都合により、変更またはキャンセルになる場合がございます

チケット

一律 1,900円 全席自由／各回入替制（上映時間 93 分＋トーク）

公式 ONLINE SHOP・各会場にて

12 / 20 発売開始

注意事項
について

※本上映はムビチケ対象外となります。※PG12指定作品のため、12歳未満の年少者の観覧には保護者の助言・指導が必要です。※予定枚数に達した場合は販売終了となります。※未就学児の入場はご遠慮ください。※車椅子をご利用の方は事前に問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。※出演者は都合により、変更またはキャンセルになる場合がございます。公演を中止・延期する場合以外は、チケット代金の返金はいたしませんのでご了承ください。※チケット破損・紛失・公演当日のチケット忘れなど、いかなる理由にかかわらず再発行はいたしません。公演終了まで大切にお取り扱いいただきますようお願いいたします。※会場内は録音・録音・撮影を禁止させていただきます。



@bokuhanamovie

<https://bokuhana.ayapro.ne.jp/>

主催 映画「僕の中に咲く花火」実行委員会 協力 飛騨市 株式会社 中広

問い合わせ 株式会社 中広 kyouken@chuco.co.jp ※本イベントの問合せ窓口はメールのみとさせていただきます。

チケットに関する問い合わせ 高山市民文化会館 0577-33-8333
飛騨市文化交流センター 0577-73-0180

© ファイアワークス LLP

この事業は岐阜県からの補助金を受けています
2025年12月1日 映画「僕の中に咲く花火」実行委員会